

平成29年度第1回神栖市行財政改革推進委員会 会議要旨

日 時	平成29年6月28日（水） 午後1時30分～午後4時20分
場 所	神栖市役所 3階 庁議室
案 件	<p>(1) 平成28年度神栖市改革チャレンジプラン取組状況について (プラン担当課ヒアリング)</p> <p>① プラン15 学校図書館機能の充実（中央図書館）</p> <p>② プラン10 地域防災力の充実強化（防災安全課）</p> <p>③ プラン4 事務事業の整理統合（行政改革推進課）</p>
出席委員数	10名
傍聴者	0名
会議の要旨等	
<p>1 開会</p> <p>2 会長あいさつ</p> <p>3 案件</p> <p>(1) 平成28年度改革チャレンジプランの取組状況について</p> <p>プラン担当課とのヒアリング前に行政改革推進課から、改革チャレンジプランの平成28年度取組状況、プランの変更内容、プラン担当課による自己評価の状況について説明。</p> <p>(プラン担当課ヒアリング)</p> <p>① プラン15 学校図書館機能の充実（中央図書館）</p> <p>(主な質疑等)</p> <p>委員：教育委員会の他の課あるいは学校が主担当になるべきプランではないでしょうか。</p> <p>担当課：各学校図書館については、各学校が計画あるいは目標を持って取り組むものであり、市立図書館や教育委員会の他の課は、それを応援するという形が望ましい。しかし現実的に中々進まない状況であったことから、教育委員会内で中央図書館が支援センターを立ち上げて取り組むこととなりました。</p> <p>委員：学校図書館図書整備等5ヵ年計画というのを読ませていただきましたが、一つ目は学校図書館図書の整備、二つ目は学校図書館への新聞配置、三つ目は学校司書の配置なんです。一つ目は良いのですが、二つ目、三つ目は並行して実施しないと文部科学省が進める図書館機能の強化にはつながらないですね。元々は昨年12月に文部科学省が、中央教育審議会から2015年に行われたOECDの結果、日本では読解力が足りないという結果が出たからもう少ししっかりやりなさいよという答申をもらって、言い出しているわけですね。読解力を高めるためには他のところがもっと取り組まないといけないと思います。</p> <p>担当課：各学校に神栖市では学校司書が配置をされております。学校図書館への新聞配置ではありますが、そちらも順次進めているところであります。</p> <p>委員：中央図書館が支援をしてその後の学校図書館の在り方の方向性が見えてこないよう</p>	

な気がします。

担当課：現在、教育委員会、教育長の意向で全小中学校に指導員という形で学校図書館での援助、支援のために職員が配置されております。しかし配置された職員のみでは限界がある、また整理、購入のノウハウがないことから、中央図書館で支援センターを立ち上げて今に至っております。学校図書館の今後の方向性は教育委員会内で協議していかなければならないと考えております。

委員：自己評価はBとなっておりますが、生徒の要求に応じているとか、借りたい本を借りることができるといった部分から見て中央図書館としてこのプランは成功していると思われませんか。また市立図書館での図書購入の基準を教えてくださいませんか。

担当課：こども達が本を読むようになってきているというのは感じています。それまでは学校図書館が使用できないような状態のところがありましたが。指導員が平成25年度に小学校、平成26年度に中学校に各1名配置されてからは、必ず開放されている時間が確保されておりますので、こども達が借りたい本を借りることができ読むことのできる環境になってきていると思います。全ての要求に応えることは困難と考えていますが利用は増加をしております。

市立図書館としての蔵書数は6館で概ね14,000種、20,000冊あります。20,000冊の購入費用は約3,600万円の経費をかけています。人口10万人程度の自治体では全国トップクラスであると思います。年間7,8万冊出版されていますので、その内2割程度を購入していることとなります。選書基準がありますので、それに基づいて、児童担当、一般担当等が2人でチームを組んで購入しております。またできるだけ幅広い分野の収集に努めております。

委員：各学校はどうなっていますか。

担当課：予算としては別に23校で1,000万円の予算があります。どんな図書を買うかは各学校で決めています。

委員：事前質問に対して、除籍を進めたいという回答がありましたが、これは内容が古いからですか、それとも劣化しているからですか。

担当課：どちらの理由もあります。

委員：学校で読む本で内容が古いというのはどういう意味ですか。

担当課：例えば世界地理の本で現在はロシアになっていますが、ソ連のままである図書が残っています。

委員：経済についての本等はどんどん変化していきますが、学校に置いてある本がそんなにチープ化するのかなという気がしています。よく読まれるのは小説などの文芸作品のかなという印象を持っていますが間違っていますか。

担当課：学校でよく読まれているのは物語です。そういったものを除籍したいというようには考えていません。授業で使用する、調べ物で使用するような本を除籍したいと考えています。

委員：そういった利用も増えているということですか。

担当課：増えていると考えています。

委員：そうすると、成果指標に掲げられている数値20.7冊を達成するには、見通しはどうかということに対して、市費及び寄贈による購入費の確保ができれば、目標達成が可能と書かれております。学校の先生からは図書購入費を増額してほしいという話も聞いていると書かれています。こういった動きに対しては中央図書館として何かできることはありますか。

担当課：当館で学校図書館の購入費1,000万円も持っておりますので、今年度予算の増額の要求をし、5%程度の予算増となっております。市全体の予算配分もありますので、すぐにはいきませんが、計画的に劣化している本についても更新していきたいと考えています。

委員：学校図書館の図書購入費は教育委員会の他の課ではなく、中央図書館が所管しているんですか。

担当課：教育委員会の学務課から中央図書館に移しました。

委員：でしたら、平成29年度から文部科学省が打ち出しているものの中に学校図書館の整備があるわけだから、積極的に交渉してはどうでしょうか。

担当課：ご意見承ります。

委員：指導員からはどのような相談がありますか。

担当課：今年度であれば、4月に指導員が7名変わっていますので、こういった図書を購入すれば良いか分からない、図書館だよりをどう作成すれば良いか分からないといった声が聞かれました。

委員：本を読まなくなっている状況がありますが、学校の年間スケジュールの中で特に読書を推進するような期間はありますか。

担当課：特にはないです。

委員：教育の部分との連携が見えてこないの、教育委員会の他の課の取組がもっと必要であると思います。

委員：指導員は全て司書の資格をお持ちですか。

担当課：持っていない方もおります。

② プラン10 地域防災力の充実強化（防災安全課）

（主な質疑等）

委員：先日、自主防災組織の加入案内が地区回覧されていたんですが、震災等の事例から入っていた方が多いんだろうが、入って私に何ができるのかという疑問があります。加入案内の前に、自主防災組織の役割にはこういったものがありますといったような案内をしていただくと検討の材料になると思います。

担当課：私どもからは春、秋の2回に各地区の行政委員に自主防災組織の結成案内をしております。行政委員が1年で交代する地区が多いことから中々進んでいない状況です。結

成率が少ないものですから一斉に結成を促進するという考えもありますが、今後の継続性も考えて1地区、1地区結成していきたいと考えております。防災士を組織のメンバーに組み込んで継続性を図っていきたいと考えております。また市役所・消防署・警察署職員のOB、消防団員のOBも組み込んでいきたいと考えております。おっしゃるとおり行政で区の説明会も必要と考えており、先日も結成の考えのある行政区に出向いたところで

委員：全市民を対象としたような説明会なり講習会なりをお願いします。ただ回覧で加入しませんかという案内のみであると、考えるきっかけがないように感じます。

担当課：市民へのPR不足も反省するところです。

委員：活動の事例を照会してはどうでしょうか。

委員：取組が進んでいないように受け取ります。PRが不足しているのではないのでしょうか。人工ももっとかけるべきではないのでしょうか。また現状の神栖市に見合ったモデル組織なども示すべきではないのでしょうか。

担当課：ご意見承ります。

委員：防災士の在り方も明確にされた方がよろしいかと思えます。

担当課：PRに努めたいと思えます。

委員：行政区の状況に応じた対応も必要と思えます。

③ プラン4 事務事業の整理統合（行政改革推進課）

（主な質疑等）

委員：今までと変えていこうとするところはありますか。

担当課：アンケートの結果から見ると若い方は制度を知らないが、活用の意思はあるという結果があることから、まずは周知が必要であるだろうとのことで一般提案、ヒント提案、実績提案それぞれで改善の事例を掲載したチラシを作成しました。

委員：提案が出来る人はどのような人ですか。

担当課：全職員です。

委員：部課長も資格があるんですね。なぜ提案をしないんですか。そのような状態なのに、なぜ事務改善委員会を開催しないんですか。企業であればもっと大騒ぎをします。あと知らないというのもどうかと思えます。例規集は全て確認しておくべきではないでしょうか。行政改革を平成7年から取り組んでいて何も提案されないというのはおかしいと思えます。管理職にやる気がないのではないかと感じてしまいます。アンケートの結果を受けて事務改善委員会も開くべきではないでしょうか。

委員：改善をやっていないというわけではないんですね。

担当課：担当課それぞれで改善している部分はあります。

委員：実績提案も広く受けるべきではないでしょうか。提案制度を活性化させることによって、職員のモチベーションが上がり、アイデアの創出につながっていくと思えます。

委員：提案賞はどの位ですか。

担当課：予算に応じて決定します。なお褒賞の最高は1万円相当のものとなります。

委員：アンケートの結果をもっと分析して上司に報告すべきであると思います。

4 その他

委員：行財政改革推進本部会議の議事録の提供をお願いします。

5 閉会